



湯河原町教育委員会

Yugawara Town Board of Education

湯河原町の文化財

湯河原町教育委員会



湯河原町の 文化財

Cultural Properties of Yugawara Town

はじめに

文化財は長い歴史の中で生まれ、その時代の人々が、
口では言い伝えられない何かを「もの」で
遺してくれた私たちの財産です。
今日まで伝えられてきた文化財は、
歴史・文化・自然などが分かる大変貴重なものです。
湯河原町にも歴史の風雪に耐え、
大切に守り伝えられた国・県・町指定の文化財が数多くあり、
一人でも多くの方が湯河原町の歴史や文化に関心を持っていただき、
このかけがえのない文化財が未来に
受け継がれていくことを願います。

湯河原町教育委員会

指定・登録文化財一覧

令和7年2月28日現在

国指定重要文化財

	名称	種別	員数	指定年月日	所在	頁	備考
1	刀 無銘伝行光	工芸品	1口	昭和36.6.30	鍛冶屋	4	■

国指定文化財

	名称	種別	員数	指定年月日	所在	頁	備考
2	城願寺のジャクシン	天然記念物	1本	昭和14.9.7	城堀252(城願寺)	6	☆
3	山神の樹叢	天然記念物	1叢	昭和14.9.7	城堀331・332・333	8	☆

国登録文化財

	名称	種別	員数	指定年月日	所在	頁	備考
4	今田美奈子私邸(愛光商会吉浜寮)	建造物	1棟	平成18.3.2	吉浜1	10	□
5	尾崎家住宅	建造物	4棟	平成22.1.15	宮上	12	■
6	上野屋	建造物	3棟	平成22.1.15	宮上616-1他	14	■
7	伊藤屋旅館	建造物	3棟	平成26.4.25	宮上484-1他	16	★
8	藤田屋旅館本館	建造物	1棟	平成26.12.19	宮上495	18	□
9	富士屋旅館旧三号館	建造物	1棟	令和2.4.3	宮上557-1	20	★

県指定文化財

	名称	種別	員数	指定年月日	所在	頁	備考
10	土肥相山巖窟(伝源頼朝隠潜地)	史跡		昭和30.11.1	鍛冶屋953	22	☆
11	土肥一族の墓所	史跡		昭和30.11.1	城堀252(城願寺)	24	☆
12	サンゴイソギンチャク	天然記念物		昭和54.2.16	福浦字カツラコ地先海域	26	□
13	五所神社本殿	建造物	1棟	平成7.2.14	宮下359-2(五所神社)	28	☆■
14	鍛冶屋鹿島踊り	無形民俗文化財		令和5.3.20	鍛冶屋	30	祭日 ☆

町指定文化財

	名称	種別	員数	指定年月日	所在	頁	備考
15	子之神社の格天井板絵	絵画	84枚	昭和54.4.1	福浦129(子之神社)	32	★ HP
16	不動堂の雨乞の面	彫刻等	1面	昭和54.4.1	宮下	34	■
17	土肥実平及び遠平像	彫刻等	2軀	昭和54.4.1	城堀252(城願寺)	36	★

18	醍醐院の宝篋印塔	石造物	1基	昭和54.4.1	福浦117(醍醐院)	38	☆
19	小道地藏堂の宝篋印塔	石造物	1基	昭和54.4.1	吉浜1(小道地藏堂)	40	☆
20	土肥相山巖窟内観音像群	史跡	61軀	昭和54.4.1	鍛冶屋953	42	☆
21	明神の楠	史跡	1本	昭和54.4.1	宮下355-2(五所神社)	44	☆
22	與謝野寛・晶子連理歌碑	歴史資料	1基	昭和57.4.1	吉浜	46	■
23	子之神社の飾り屋台	有形民俗文化財	1基	昭和57.4.1	福浦129(子之神社)	48	祭日 ☆ HP
24	聖ヶ窪の宝篋印塔	石造物	1基	昭和57.4.1	宮下697-1	50	■
25	湯河原沸石	天然記念物	1地域	昭和57.4.1	宮上750・751	52	地球博物館 ☆
26	湯河原沸石の産地	天然記念物	1地域	昭和57.4.1	宮上750・751	54	☆
27	黒曜石	天然記念物		昭和57.4.1	宮上566(万葉公園)	56	☆
28	黒曜石採掘遺跡	史跡	1地域	昭和57.4.1	鍛冶屋440	58	□
29	城堀元服祝い唄	無形民俗文化財		昭和57.4.1	城堀	60	祭日 ☆ 9月
30	鍛冶屋の田植唄	無形民俗文化財		昭和57.4.1	鍛冶屋	62	■
31	五所神社の銀杏	天然記念物	1本	平成9.5.1	宮下357(五所神社)	64	☆
32	五所神社の楠	天然記念物	1本	平成9.5.1	宮下356(五所神社)	66	☆
33	産土八幡神社の楠	天然記念物	1本	平成9.5.1	城堀217(産土八幡神社)	68	☆
34	五郎神社の本殿	建造物	1棟	平成16.1.1	鍛冶屋725(五郎神社)	70	☆
35	小道地藏堂の明和2年の碑	石造物	1基	平成16.1.1	吉浜1(小道地藏堂)	72	☆
36	瑞應寺の銅像釈迦如来坐像	彫刻等	1軀	平成16.1.1	鍛冶屋440(瑞應寺)	74	★
37	元禄13年10月伊豆山権現領と小田原藩との境論についての幕府の裁許状(裁許図)	古文書		平成16.1.1	中央2-2-1(湯河原町役場)	76	■
38	吉浜柏坂の道標	歴史資料	2基	平成16.1.1	吉浜4-1口地先	78	☆
39	土肥城址(土肥城山)	史跡	1地域	平成16.1.1	城堀401他	80	☆
40	素鷲神社飾り屋台	有形民俗文化財	2基	平成27.1.1	吉浜1047(素鷲神社)	82	祭日8/1 ☆

国選択・県指定無形民俗文化財

	名称	保存団体	所在地	指定年月日	頁	備考
41	吉浜の鹿島踊	吉浜素鷲神社 鹿島踊保存会	吉浜	県指定：昭和29.7.17 国選択：昭和46.11.11	84	祭日8/1 ☆

見学：☆可 ★要連絡(直) □不可(外観のみ) ■不可
 Visit：☆Possible ★Advanced contact required □impossible (external viewing only) ■impossible
 祭日：Festival day 地球博物館：Museum of Natural History

The shrine and temples are sacred places of worship.
 Please show respect by following the rules and guidelines.Thank you.



種 別 工芸品
員 数 1 口
所 在 地 湯河原町鍛冶屋
指 定 国指定重要文化財 昭和36年6月30日
指定番号 工第1856号
規 模 長さ63cm9mm (2尺1寸1分)
年 代 鎌倉時代

鎌倉時代につくられ、鑄造 (しのぎづくり)、板目地沸 (いためじにえ)、のたれに小瓦の目、金筋、二重刃があり、匂口 (においぐち) が冴えています。当地ゆかりの名匠正宗にその技術を伝えたといわれる兄弟子行光の作です。相州伝の特徴が良く現われています。



katana, The Japanese Sword : Mumei den Yukimitsu,
“Swordsmith Yukimitsu”

One Sword

Craft : One Sword

Location : Kajiya, Yugawara

Designated as Important Cultural Property on 30th June 1961 by
the Japanese Government No.1856

Length 63cm9mm

Production period : Kamakura Period

Swordsmith Yukimitsu who was senior assistant (pupil) of
Swordsmith Masamune.

(Masamune was the most famous swordsmith and he was born in this
area.) This sword has many special features of *soshuden* style such as
blade : *shinogi* type, *kitae* : *itame-nie* : many, *hamon* :
ko-kawara-no-me, *hataraki* : *kinsuji+nijuba*, *nioi-kuchi* : clearly



種別 天然記念物

員数 1本

所在地 湯河原町城堀252番地（城願寺境内）

指定 国指定文化財 昭和14年9月7日

規模 目通り（地上1.5mの幹周）6m、地上18m
樹齢800年（推定）

城願寺境内の石段を上がって行くと、本堂に向かい右側にビャクシンの巨木が見られます。根の部分がやや露出しています。幹には傷がなく、小枝はよく発達してうっそうと茂っています。推定樹齢は、800年といわれています。

ビャクシンは別名イブキと呼ばれ、北は宮城県の沿岸から南は沖縄に至るまで広く分布しています。特に寺社の境内には植栽された大木が多く見られ、城願寺をはじめ、鎌倉建長寺などに7樹の巨樹が見られます。中には目通り8mに及ぶものもあります。

城願寺のビャクシンは神奈川県では最も大きく、樹齢も長く、垂直に伸びた幹の見事な姿は、全国的にも稀だといわれています。

Name : Jyoganji no Byakushin, "Chinese Juniper at Jyoganji Temple"

Designated Natural Monument Protected Species
(One Chinese Juniper Tree)

Location : 252 Shirohori, Yugawara

Designated as Natural Monument Protected Species on 7th Sept. 1939 by the Japanese Government

Dimension : 6m Diameter at 1.5m height from ground level
18m Height

Estimated 800 Years old

You can see this Chinese Juniper tree at right side, as you go up the front stone steps of Jyoganji Temple.

This Chinese Juniper tree in Jyoganji Temple is the biggest one in Kanagawa prefecture and it is very rare to find such an old tree and grows vertically and kept its beauty.



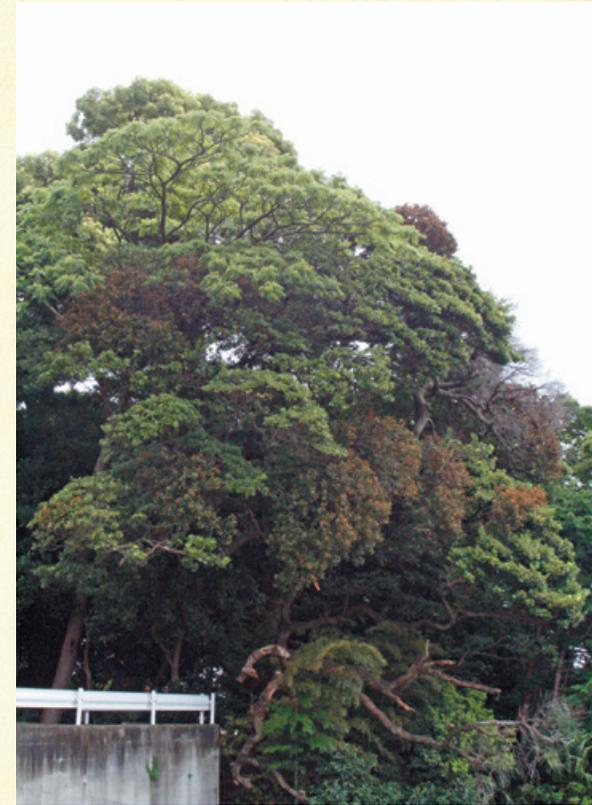
種別 天然記念物
員数 1 叢
所在地 湯河原町城堀331・332・333番地
指定 国指定文化財 昭和14年9月7日
規模 面積 約620㎡

湯河原駅の北方に「山の神」として祭られている樹叢があります。林内には小さな祠(ほくら)があり、お参りする通路があります。

山神の樹叢にはヤブニッケイ、タブノキ、クスノキ、イヌマキ、ケヤキ、カラスザンショウ等が成育しています。

この山神の樹叢は神奈川県内に残されている常緑広葉樹林のうちでは最も西に位置し、暖帯性のホルトノキを伴う林分(りんぶん)としては貴重な残存林です。

樹叢内にあったホルトノキの大木は枯死しましたが、林内には幼木が育っています。



Name : Yamagami no Juso, "Woods of Mountain God"
Designated Natural Monument Protected Species
Location : 331&332&333 Shirohori, Yugawara
Designated as Natural Monument Protected Species on 7th Sept. 1939 by Japanese Government

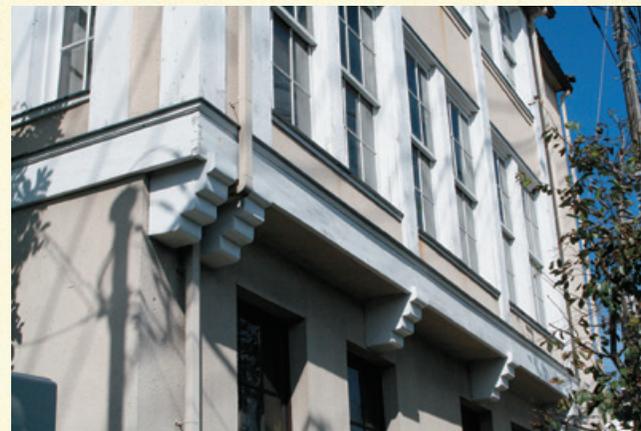
The woods are sacred to the local people and considered to be the God of the mountain.

There is a tiny shrine and a path in the woods.
Genus Zelkova, Zanthoxylum are still growing.



種別 建造物(愛光商会吉浜寮として登録)
員数 1棟
所在地 湯河原町吉浜1番地
指定 国登録有形文化財 平成18年3月2日
規模 木造3階建 鉄板葺
年代 昭和初期

関東大震災で倒壊し、解体された東京帝室博物館(現上野博物館)を土田卯三郎医学博士(大正天皇主治医)が買い受け、その一部を湯河原に移築、令嬢の別荘として使用されてきました。室内には、ジョサイア・コンドル初期の特長であるインド・イスラム様式の階段手すりや東京帝室博物館で使われていた扉など、当時そのままに移築され大切に保存されています。



東京帝室博物館は、明治11年、ロンドン出身の建築家ジョサイア・コンドル氏が日本の招聘に応じ来日し、設計に携わりました。彼の手掛けた建造物には、鹿鳴館、ニコライ堂、三菱1号館、岩崎弥之助邸などがあります。

Name : Imada Minako shitei, "Ms. Minako Imai's private house"
registered as Aiko-Syokai Yoshihama-Ryo
Registered Tangible Cultural Property (Building)
Location : 1 Yoshihama, Yugawara
Registered as Tangible Cultural Property on 2nd Mar. 2006 by
Japanese Government
Building style : 3 stories, wooden house, iron *itabuki*
Built in the early Showa era around 1926

This house was rebuilt by some parts of the Tokyo Empire Museum (known as Ueno Museum) which collapsed in Great Kanto Earthquake of 1923. Dr. Usaburo Tsuchida, who was the main doctor to Taisho Emperor, purchased the museum. He rebuilt it in Yugawara as his daughter's summer house. There are many characteristics of early architectural design by the architect Josiar Conder. The steps & hand rail with India-Saracenic style and door still remains at the museum.



種別	建造物
員数	4棟
所在地	湯河原町宮上
指定期	国登録有形文化財 平成22年1月15日
規模	主屋 木造平屋一部2階建、瓦葺
	浴室 地下通路付 木造平屋建、鉄板一部銅板葺
年代	四阿 木造平屋建、銅板葺
	門 木造、銅板葺
年代	主屋 昭和16年
	浴室 昭和16年
	四阿 昭和16年
	門 昭和16年



もとは横浜の書籍・文具商の老舗・有隣堂の初代社長であった松信大助氏の別荘で、平成15年に尾崎氏の別荘となり、徳利亭と号しました。

南向きの傾斜地に温泉地の別荘として建てられました。主屋には客室や茶室などがあり、銘木を使った凝った意匠が見られます。浴室は地下道で繋がっていて、内装にも趣が感じられます。庭園内にある四阿(あずまや)は、網代張りの天井など庭園と調和のとれた瀟洒(しょうしゃ)な意匠を取り入れています。門は、皮付き丸太を柱に使うなど、数寄屋風の軽快な作りとなっています。

Name : Ozaki-ke jutaku, "The Ozaki Family's Residence" building
Registered Tangible Cultural Property (4 houses)
Location : Miyakami, Yugawara
Registered as Tangible Cultural Property on 15th Jan. 2010 by Japanese Government
Building style : Main building (2 stories, built of wood, *kawara* roofing) , Bath room, Arbor, Gate, Main Building built around 1941

This house was built on a sloping terrain facing south. Main building has a tea room decorated with precious wood. This house used to be called "Tokkuri-Tei".



種別	建造物
員数	3棟
所在地	湯河原町宮上616番地の1他
指定	国登録有形文化財 平成22年1月15日
規模	玄関棟 木造2階建、入母屋造、鉄板及び銅板瓦棒葺 本館 木造5階建、入母屋造、鉄板葺 別館 木造2階建、入母屋造、鉄板瓦棒葺
年代	玄関棟 昭和11年頃 本館 昭和5年頃 別館 大正12年頃

「上野屋」は湯河原で最も古い歴史を持つ温泉旅館の一つです。創業は江戸時代で、幕末期の湯宿の一つとして数えられます。



明治28年（1895年）発行「相州土肥湯河原温泉誌」には「村内の温泉宿は総て十二戸あり」と12軒の旅館名がありますが、その中に上野屋（室伏愛次郎）も記されています。

本館は、木造5階建て、鉄板葺入母屋造の大屋根を持つ客室棟で、山側の傾斜地に沿って木造4階建てとして建設されました。その後すぐに長逗留をしていた銀座の大店の常連客の要望で、5階部分が離れとして増設されました。

Name : Uenoya (Hot Spring Inn) building
Registered Tangible Cultural Property (3 Houses)
Location : 616-1 Miyakami, Yugawara
Registered as Tangible Cultural Property on 15th Jan. 2010 by Japanese Government
Building Style : 2 stories made of wood, *irimoya* style with iron and copper roofing
Main building was built around 1930 and Annex was built around 1923 and Entrance was built around 1936.

Uenoya is one of the oldest Japanese style hot spring inns in Yugawara. This hot spring inn started in the late Edo period.



種別	建造物
員数	3棟
所在地	湯河原町宮上484番地の1他
指定	国登録有形文化財 平成26年4月25日
規模	本館 木造2階建、入母屋造、棧瓦葺 奥棟 木造2階建、入母屋造、棧瓦葺
	門柱 御影石柱
	石垣 本小松石・間知石積み
年代	本館 大正15年頃
	奥棟 大正大震災前（伝承）
	門柱と石垣 大正から昭和初期頃

「伊藤屋」は、明治21年（1888年）に伊藤周造が政府の高官を宿泊させる目的で創業した旅館です。



本館は、総二階の楼閣風建物で、入母屋造棧瓦葺の屋根をあげ、三寸六分角柱の細い桧柱と繊細な組子入硝子障子を多用した近代和風建築です。棟札により大正15年に上棟されたことが分かります。特に主室は、違棚（ちがいだな）と付書院（つけしょいん）のある床脇の背面に狭間格子入の硝子障子を立てた明窓を付けるなど、他に見られない特徴をもっています。

Name : Itoya Ryokan (Hot Spring Inn) building
Registered Tangible Cultural Property (3 Houses)
Location : 484-1 Miyakami, Yugawara
Registered as Tangible Cultural Property on 25th Apr. 2014 by Japanese Government

Main Building was built around 1926.
Back Building was built before 1923.
Gate and Stone Wall were built around 1926.

Itoya Ryokan was built as a guest house for Shuzo Ito a senior government official. Multistoried main building was uniquely built during that period and the main room was uniquely decorated compared to other ryokan.



種 別 建造物

員 数 1 棟

所在地 湯河原町宮上495番地

指 定 国登録有形文化財 平成26年12月19日

規 模 木造2階建、瓦葺一部銅板葺

年 代 大正12年、昭和4年・昭和26年改修

「藤田屋」は、明治44年（1911年）の「旅館要録」によると開業は、明治15年（1882年）になります。現在営業を続ける旅館の中でも、特に歴史の古い温泉宿の一つです。本館は、木造2階建の東棟と西棟が雁行して建てられており、中央に入母屋造の玄関を構えています。藤木川に臨んで8畳主体の客室を並べ高欄を構えている。室内の床の間や欄間は、繊細な意匠の組子細工や



透かし彫りで飾られています。東棟では入口に多様な数寄屋意匠の小庇(こびさし)をつけています。温泉街の旅情を醸し出す旅館建築といえます。

Name : Fujitaya Ryokan (Hot Spring Inn) building
Registered Tangible Cultural Property (one House)

Location : 495 Miyakami, Yugawara

Registered as Tangible Cultural Property on 19th Dec. 2014 by Japanese Government

Building Style : 2 stories made of wood, kawara roofing and copper roofing

It was built in 1882 originally and rebuilt in 1923, 1929 & 1951.

It has East and West wings. The main entrance, decorated in *irimoya* style, was located in the center of buildings. There are many decorated carvings with extremely beautiful designs in the rooms.



種別 建造物
員数 1棟
所在地 湯河原町宮上557番地の1
指定 国登録有形文化財 令和2年4月3日
規模 木造2階建、入母屋造、瓦葺
年代 大正12年頃

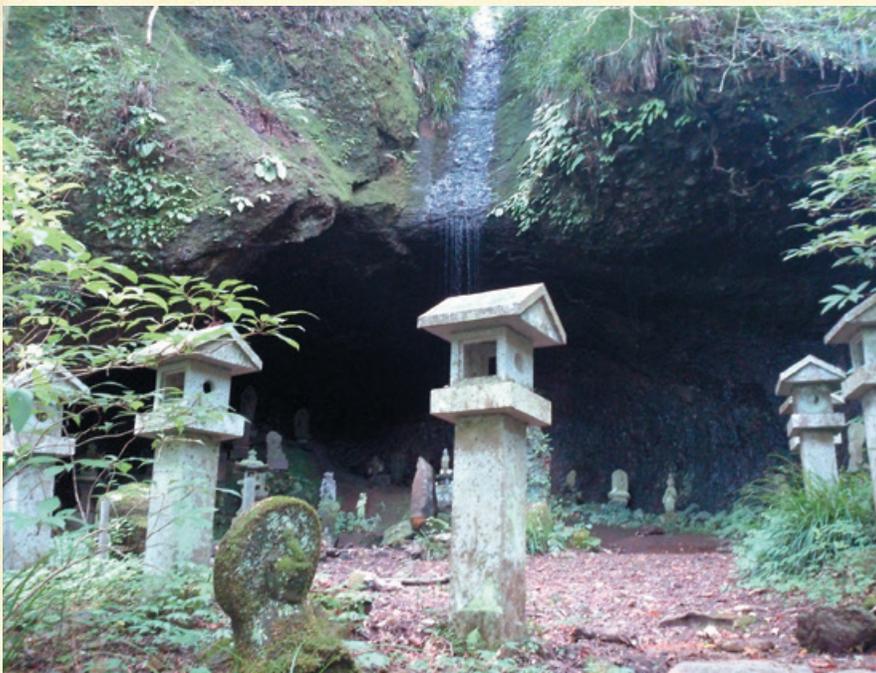
「富士屋旅館」は湯河原温泉の川沿いに建つ2階建ての木造旅館です。富士屋旧三号館は大正期の建物で、客間の座敷飾り、縁側廊下の建具などにも繊細な組子、硝子戸を多用するなど当時の特徴をよく表しています。また、入母屋(いりもや)造の主体部の両端から川側に入母屋の張出しを設け、大屋根の中央に千鳥破風(ちどり はふ)を飾り、上階は刎高欄(はねこうらん)付の縁を廻らす等、風格ある



立面を構成しており、往時の温泉街の風情を伝えます。

Name : Fujiya Ryokan (Hot Spring Inn) Old Building No.3
Registered Tangible Cultural Property (One House)
Location : 557-1 Miyakami, Yugawara
Registered as Tangible Cultural Property on 3rd Apr. 2020 by Japanese Government
Building Style : 2 stories, made of wood, *irimoya* style, *kawara* tile roofing
It was built around 1923.

Fujiya Ryokan is a 2-story wooden Japanese inn located by the riverside. Fujiya Old building No.3 is a building from the Taisho era that represents the characteristics of that era's style such as the heavy use of glass doors, guest rooms floored with *tatami* mats and *zashiki* decoration, and the *engawa* veranda's sliding doors decorated with *kumiko*-craftwork. In particular, the surface of this building has a three-dimensional structure.



種別 史跡

所在地 湯河原町鍛冶屋953番地

指定 県指定文化財 昭和30年11月1日

吾妻鏡によれば治承(じょう)4年(1180年)、源頼朝は、平家討滅・源氏再興の兵を挙げましたが敗れ、土肥実平に導かれて土肥椛山(すぎやま)に隠れました。

そのとき、源頼朝は髻*(もとどり)の中から小さな観音像を取り出して"或る巖窟"に置きました。後日、この観音像は再び頼朝の手に戻りましたが、その巖窟として県の史跡に指定されています。

*髻(もとどり)：髪の毛を頭の上で束ねた部分



Name : Doi Sugiyama Gankutsu, "Cave of Doi Sugiyama"
Designated Historic Site

Location : 953 Kajiya, Yugawara

Designated as Historic Site on 1st Nov. 1955 by Kanagawa Prefecture.

Yoritomo Minamoto (a Shogun from Kamakura period) hid in this cave after he was defeated by the Taira clan, Heike, in 1180. After this narrow escape, he established his shogunate at Kamakura.



種別 史跡

所在地 湯河原町城堀252番地（城願寺境内）

指定 県指定文化財 昭和30年11月1日

年代 鎌倉時代

城願寺は土肥実平（どいさねひら）を祖とする土肥氏の菩提寺です。土肥の館の持仏堂（じぶつどう）の跡に建てられたといい、宝篋印塔（ほうきょういんとう）、五輪塔など数十基が立ち並ぶ土肥一族の墓所があります。各種形式、各年代にまたがる墓石が並び、関東有数のものとして県の史跡に指定されています。

実平の事績は、石橋山の合戦以来いくつもの合戦に従い、平家討滅の道を開きました。



Name : Doi ichizoku no bosho, "Cemetery of The Doi Family and Relatives"

Historic Remains

Designated Historic Site

Location : 252 Shirohori, Yugawara (C/O of Jyoganji Temple)

Designated as Historic Site on 1st Nov. 1955 by Kanagawa Prefecture

Constructed in Kamakura Era

Jyoganji Temple is The Doi family's temple. It was constructed at the site of Jibutsu-dō which was a hall where private Buddha statues are kept.

Sanehira Doi became famous after winning the battle against the Taira clan (Heike) .



種 別 天然記念物

所在地 湯河原町福浦字カツラゴ地先海域

登 録 県指定文化財 昭和54年2月16日

真鶴半島の南岸、湯河原町福浦のカツラゴ海岸には、サンゴイソギンチャクのいくつかの大きい群集が認められます。分布北限をなしますが、起伏に富んだ安山岩の溶岩の上に発達した群集の様相はすこぶる特異です。

体色は緑色から褐色、触手は大人の指ぐらいの太さで、先端が紅色を呈し、波にゆられている景観は素晴らしい。クマノミと呼ぶ美しい魚が共生するのが常です。

この群集は、町内在住の渡部孟氏により発見されました。



Name : Sangoisoginchaku, "Coral Sea Anemone"

Designated Natural Monument Protected Species

Location : Fukuura Fishing Port (surrounding Katsurago beach) , Yugawara

Designated as Natural Monument Protected Species on 16th Feb. 1979 by Kanagawa Prefecture.

Katsurago Beach is located on the South Coast of Manazuru Peninsula on the Northern habitable boundary. There are gregarious coral sea anemone. Color is green to brown and tip is crimson. It is a beautiful scene when they are tossed by the waves.



種 別 建造物
員 数 1 棟
所在地 湯河原町宮下359番地の2（五所神社）
指 定 県指定文化財 平成7年2月14日
規 模 三間社流造 桁行 4m87cm 梁間 4m86cm
年 代 室町時代後期

神奈川県内にある多くの社寺建造物は江戸時代以降に建てられたものが大部分を占めています。その中で五所神社本殿は室町時代後期の建立であろうと考えられます。

本殿は三間社流造で屋根は、もとは柿葺（こけらぶき）でした。昭和57年再建の入母屋造拝殿（はいでん）後部の幣殿（へいでん）と接続していますが、もとは独立した本殿でした。

※This door is in invisible place.



元和7年（1621年）10月24日と寛永13年（1636年）9月26日等数枚の棟札があります。

Name : Goshō Jinja Honden, "The Main Shrine of Goshō Shrine"
Designated Cultural Property (one building)
Location : 359-2 Miyashita, Yugawara
Designated as Cultural Property on 14th Feb. 1995 by Kanagawa Prefecture
Building Style: Sangensha-Nagare
Ketayuki (length of beam) 4m87cm
Harima (length of crossbeam) 4m86cm
Constructed during late Muromachi Era

Although most shrines in Kanagawa prefecture were constructed after Edo period (1603-1868), Goshō Shrine was assumed to be constructed in the late Muromachi period (before 1573). Mune-Fuda, which are foundation boards were found in 1621 and 1636.



種別 無形民俗文化財
所在地 湯河原町鍛冶屋
指定 県指定文化財 令和5年3月20日
保存者 鍛冶屋鹿島踊り保存会

鹿島踊りは小田原市石橋から相模湾沿岸を西に湯河原まで10ヶ所、静岡県は伊豆半島東岸、東伊豆町北川(ほっかわ)まで12ヶ所、合せて22ヶ所で踊られていたものが、戦後湯河原町では福浦と門川が廃絶、現在は吉浜と鍛冶屋の2ヶ所のみとなりました。22ヶ所とは、小田原市石橋・米神・根府川・江の浦、真鶴町岩・真鶴、湯河原町福浦・吉浜・門川・鍛冶屋、熱海市西山町・初島・上多賀・下多賀・網代、伊東市宇佐美八幡・宇佐美初津・湯川・新井・川奈・富戸・東伊豆町北川でした。

踊りの起源は、古代たたら製鉄に関連付けられると考えられます。また、江戸城築城に関わる石材産出の無事とそれを輸送する海上輸送の安全祈願にも関係すると思われま

す。鍛冶屋の鹿島踊りは、総勢25人で踊られ、その内、役持ちと呼ばれる歌上げ役2人、鉦(かね)役2人、太鼓役1人、黄金柄杓(こがねびしゃく)役1人、三日月役1人と踊り役の計18人で構成され、この他に4人の警護役が加わります。

毎年4月の五郎神社の例大祭には、五郎神社や鍛冶屋会館などで踊られます。他の伝承地では、神社のほか

Name : Kajiya Kashima *odori*, "Kashima Dance at Kajiya"
Designated Intangible Folk Cultural Property
Location : Kajiya area, Yugawara
Conservator : Preservation Society of Kajiya Kashima Dance
Designated as Intangible Folk Cultural Property on
1st Jan. 2004 by Yugawara Town

It is said, that Kashima Dance was based on the ancient iron and steel making process, *Tatara*. It consists of a total of 25 dancers and can be seen at the dance festival in April. This dance is different from other traditional dances because it's inland and not near the ocean.



- 種 別 絵 画
員 数 84 枚
所在地 湯河原町福浦129番地（子之神社）
指 定 町指定文化財 昭和54年4月1日
形 状 着色花鳥獣魚図、格天井 材質 木材（杉）
規 模 板絵1枚 縦55cm×横55cm
天井 間口7m20cm、奥行4m50cm
年 代 天保年間（1830～1844年）
八十島文雅（やそじまぶんが）他作

この板絵は、狩野派と文人派を折衷した格調高いもので、中国や朝鮮に流行した陰陽五行説（いんようごぎょうせつ）や本草学（ほんそうがく）などの知識が盛り込まれ、江戸文化史の一断面を知る貴重な資料です。



板絵に描かれている花鳥獣魚の大半は文雅の筆によるものです。魚貝類など郷土特有の海産物の絵も見られ、郷土資料としても得難いものです。

なお、作者の八十島文雅は天保時代の女性絵師で、その画風や雅号から察して谷文晁（たにぶんちょう）と師弟関係にあったと考えられます。当時江戸の魚商人と密接な関係にあった福浦村の求めにより、はるばると当村に至り、名主であった露木浦右衛門（つゆきうらえもん）宅に長期滞在し、村民の協力を得ながら、この板絵を完成させたものと考えられます。

Name : Neno Jinja no goutenjo itae "Panel Paintings of coffered ceiling in Neno Shrine" paintings.

Designated Cultural Property (84 sheets of Paintings)

Location : 129 Fukuura, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Type of Paintings : Variety of colored flowers, birds, animals, fish on Japanese Cedar sheet 55cmx55cm each.

Dimension of ceiling : 7.2m x 4.5m

Paintings were drawn during 1830-1844 by the lady artist Bunga Yasojima.

These paintings are valuable to know and understand about Edo cultural history. Art style is half-Kano style & half-Bunjin style with noble atmosphere.

Some paintings reflect Medical herbs study, the theory of Yin-Yang and the Five Elements.

Bunga was a famous female painter in Edo. Most sheets were painted by her. However other local villagers assisted her.



種 別 彫刻等
員 数 1 面
所在地 湯河原町宮下
指 定 町指定文化財 昭和54年4月1日
年 代 不 詳

農耕の生活には自然の雨水が貴重な資源であったので、古くからこのような面を使って、降雨を祈る行事が行われました。

雨乞(あまごい)は、深夜にこの面を奉持し、三町(約330m)ほど離れた千歳川の川岸に降ります。もとは、そこに水分(みくまり)の神(流水の分配を司る神)の祠(ほくら)がありました。川に入って面を川水に浸し、不動堂に帰ると必ず降雨があったと伝えられています。修験者がこの堂に住んで加持祈禱をしていましたが、雨乞の行事もその一つでした。

この雨乞の面が不動堂に保存された年代は不明ですが、江戸期からの農耕における農民の切実な信仰を物語っています。

面は上顎に牙、頭の上に角があるので、鬼面を原型としていますが、表情に雨蛙の印象を取り入れたのが特徴で、雨蛙を雨神(あまがみ)とする民俗信仰の現われとして貴重なものです。

Name : Fudo-dō no amagoi no men "Mask for Rain-Making Rituals of Fudo-Dō (Hall)"

sculpture

Designated Cultural Property (one mask)

Location : Miyashita, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Production period : Unknown

Rain fall is very important for agricultural society. This mask has expression based on demons. It has fangs on the upper jaw and horns on the head.

It also has characteristics of a frog in its facial expression.



種別 彫刻等

員数 2 軀

所在地 湯河原町城堀252番地（城願寺）

指定 町指定文化財 昭和54年4月1日

年代 鎌倉時代末期から室町時代初期（推定）

土肥実平は、城願寺を建立したこの地の豪族で、弥太郎遠平（やたろうとおひら）は実平（さねひら）の長男です。この二つの像は寺宝で、城願寺に由緒の深い歴史上の人物の彫刻として、貴重なものです。

実平の像は、衣冠束帯（いかんそくたい）（平安時代中期以後、宮中に出るときに着た服）、冠は前折烏帽子（まえおりえぼし）、扇を持ち刀を腰につけています。遠平の像は、僧衣で笏（しゃく）を持ち、首は入首



（いりくび）式ですが、現在は漆で固定してあります。

製作年代は不明ですが、ほぼ鎌倉末期から室町初期にかけてのものと推定されています。土肥氏の子孫である小早川氏によって製作され、のちに城願寺に安置されたと伝えられています。

Name : Doi Sanehira oyobi Tohira zō, “Seated figure of Sanehira Doi and Tohira Doi”

sculpture

Designated Cultural Property (two sculptures)

Location : 252 Shirohori, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Production period : Late Kamakura to early Muromachi Period by Kobayakawa related to Sanehira Doi.

Sanehira Doi was from a very powerful family in this area who had built Jyoganji Temple.

Tohira was his eldest son.



種別 石造物
員数 1基
所在地 湯河原町福浦117番地(醍醐院)
指定 町指定文化財 昭和54年4月1日
年代 明和8年(1771年)



江戸時代の宝篋印塔は大形のものが多く、主に供養塔としてお寺の境内に建てられました。醍醐院のものもそうした石塔の一つで、現熱海市泉にある保善院の住職の協力を得て、当時の福浦村の高橋という人が建設したものです。石は地元の小松石を使用しています。塔身には彫刻が施され、この地方に優秀な石工がいたこともわかります。波の図形なども使われていて、漁村らしい雰囲気を漂わせています。

Name : Daigoin no Hokyoin-tō, "Hokyoin-tō (Stone Pagoda) of Daigoin Temple"
Designated Cultural Property (stone sculpture)
Location : 117 Fukuura, Yugawara
Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town
Built in 1771

Stone Pagodas in the Edo period were mostly a memorial tower of the temple.
This is made out of local Komatsu stone. It is decorated with a wave design and it represents fisherman village.



種別 石造物
員数 1基
所在地 湯河原町吉浜1番地（小道地藏堂）
指定 町指定文化財 昭和54年4月1日
年代 文政11年（1828年）

小道地藏堂は星ヶ山中腹にあったものを、江戸時代に現在の場所に移築したものです。

この宝篋印塔（ほうきょういんとう）の材料となっている小松石は、硬く、耐久性、耐火性に優れ、磨くと独特の光沢を發します。江戸時代に江戸城の修理などで大量に使われたことから有名になり、建築用材として人気が高まりました。一部表面が傷んでいる部分もありますが、全体的によく保存されています。この石塔にはこの地藏堂の由来などが書かれています。当時の石塔としてもかなり大形のもので、吉浜村が石材業にかかわっていたことを示しています。

Name : Komichijizo-dō no Hokyoin-tō, "Hokyoin-tō (Stone pagoda) of Komichijizo-dō"
Designated Cultural Property (stone sculpture)
Location : 1 Yoshihama, Yugawara
Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town
Built in 1828

This stone pagoda is made out of local Komatsu stone. It is a large stone for this time period. Which means this area (Yoshihama) was famous for stone business.



種別 史跡

員数 61 軀

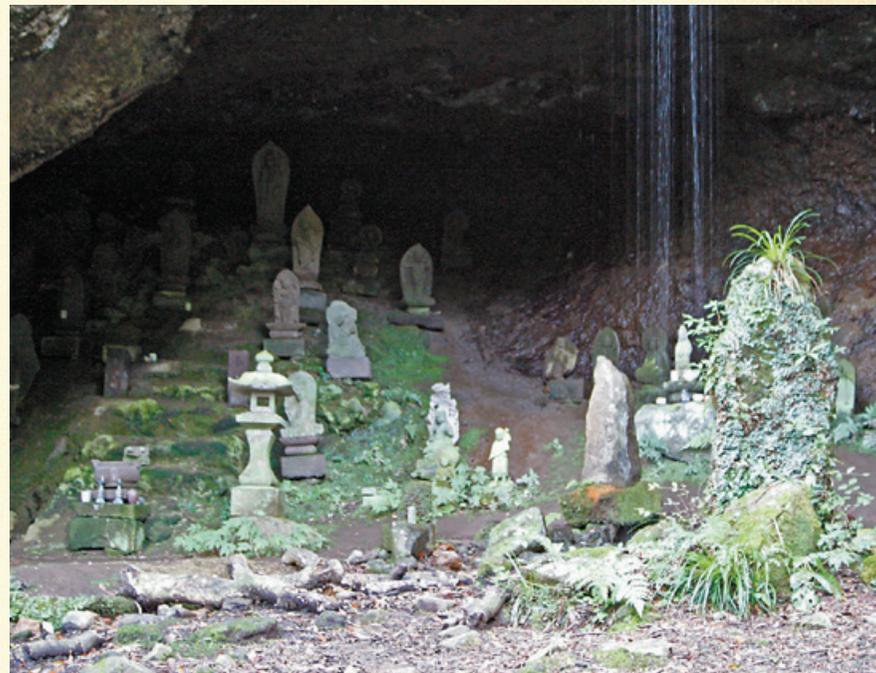
所在地 湯河原町鍛冶屋953番地

指定 町指定文化財 昭和54年4月1日

年代 江戸時代

これらの石仏は、江戸時代にこの地域の人達が近親の死者への供養として、長期にわたり継続して奉納してきたものであり、この場所は昔、源頼朝が隠れたと伝えられる「巖窟」（しとどのいわや）の中や、その近くに置かれています。

この窟（いわや）は古くから山岳宗教の修行の場所で、聖地として崇（あが）められてきた宗教的な歴史を知るうえで貴重です。



Name : Doi Sugiyama Gankutsu nai Kannonzō gun, "Group of Statue of Kannon in Doi Sugiyama Cave"

Historic site

Designated Historic Site & Monument (61 statues)

Location : 953 Kajiya, Yugawara

Designated as Historic Site and Monument on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Built in Edo Period

Kannon "Sanskrit" is one of the principal bodhisattvas of Mahayana Buddhism in east Asia. These Kannon Statue had been dedicated to close relatives' souls by local people in Edo period, which extended over a long period of time.

These are placed inside of Shitodo Cave and around it. Shitodo is a sacred mountain for worshippers.

It is also known as the place where Yoritomo hid.



種別 史跡

員数 1本

所在地 湯河原町宮下355番地の2 (五所神社)

指定 町指定文化財 昭和54年4月1日

規模 根回り15m60cm 樹高17m50cm

樹齢800年以上 (推定)



五所神社は、古くは五所明神社または五所大明神と称し、その参道は明神の楠のそばを経て、千歳川まで続いていました。参道は、正保(しょうほ)3年(1646年)当時入谷村といわれたこの地方の宮上と宮下を分ける分境線でもありました。神社を参拝するときには千歳川で禊(みそぎ)を行ったものです。参道には楠が数多く生い茂っていましたが、現在は県道わきにある「明神の楠」と境内に数本残すのみです。この楠は古木のため幹の中が一部朽ちてコンクリートで補強されていますが、その中に庚申像(こうしんぞう)が安置されています。

Name : *Myojin no Kusunoki*, "Camphor Tree in Myojin God"

Designate Historic Site (one tree)

Location ; 355-2 Miyakami, Yugawara

Designated as Natural Monument Protected Species on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Dimension : 15m60cm diameter around roots, 17m50cm high 800 years old

This memorial tree was used as a landmark to locate the Gosho shrine from Chitose river.

People who are going to pray at Gosho Shrine did *misogi*, purify their body in the water, in Chitose river. Unfortunately, only few trees are remaining now. You can see the statue of Koshin God inside of this tree.



「光つつ 沖をいくなりいかばかり
たのしき夢を載する白帆ぞ
寛」

「吉浜の 真珠の荘の山ざくら
嶋にかさなり海にのるかな
晶子」

種別 歴史資料

員数 1基

所在地 湯河原町吉浜

指定 町指定文化財 昭和57年4月1日

年代 昭和18年

與謝野夫妻（與謝野寛…1873年～1935年・晶子…1878年～1942年、歌人・詩人）は、ともに進歩的な考えをもち、従来の歌風にこだわらず、人間の情熱的な生き方をおおらかに歌いあげ、自身もそんな生き方をしました。

当時、與謝野寛（鉄幹）らが出した雑誌「明星」に挿絵を描いていた、真鶴在住の三宅画伯は、彼の友人有賀精（ありがつとむ）氏所有の真珠荘を夫妻に紹介しました。二人は昭和7年から17年までの10年間、幾度となくここを訪れ、その都度1週間から10日間ほど滞在しました。

この碑に刻まれた歌は、この地で二人が詠んだ数千首の中から選ばれたものです。

Name : Yosano Hiroshi & Akiko Renri-kahi “Monument of Hiroshi and Akiko Yosano’s *Tanka* Inscription”

Designated Cultural Property (one Stone Sculptue)

Location : Yoshihama, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1982

by Yugawara Town

Build in 1943

Tanka is a traditional Japanese poem containing five lines of 5, 7, 5, 7 and 7 syllables, respectively.

Hiroshi “Tekkan” and Akiko Yosano were famous Tanka poets.

Their poem were very modern and were expressed in a passionate way.

Artist Miyake, who lived in Manazuru, invited them to his friend’s summer house in Yugawara. Thousands of Tanka about Yugawara were written then.



種別 有形民俗文化財
 員数 1基
 所在地 湯河原町福浦129番地（子之神社）
 指定 町指定文化財 昭和57年4月1日
 形状 置き屋台 材質 木材 樺(けやき)
 規模 高さ2m52cm、横4m10cm、幅3m56cm
 年代 不詳（江戸時代、天保年間かその前後）
 小川義長作（浅草彫工）

この屋台は、飾り屋台と呼ばれているように、町内を引き回すものではなく、祭礼のたびに組み立て一定の場所に据え置き、中でお囃子を演ずるものです。

この種の屋台は、町内に素鷲(すが)神社（吉浜地区）に2基、五郎神社（鍛冶屋地区）、八幡神社（門川地区）、産土(うぶすな)八幡神社（城堀地区）そして子之(ねの)神社（福浦地区）に各1基ずつあります。

中でも子之神社のものが最も美しく、昔のままによく保存されています。屋台は芸術上価値の高い彫刻や絵画により構成されており、こうした屋台を所有できた江戸時代の湯河原の庶民の経済力並びに信仰習俗の一端をうかがい知ることができます。

Name : Neno Jinja no Kazari yatai, "Decorated Festival Float of Neno Shrine"

Designated Tangible Folk Cultural Property (float)

Location : 129 Fukuura, Yugawara

Designated as Tangible Folk Cultural Property on 1st Apr. 1982 by Yugawara Town

Style : Float made of wood (Japanese Zelkova)

Dimension : Height 2m52cm side 4m10cm width 3m56cm

Constructed during Edo period

Carver & Artist : Yoshinaga Ogawa

This decorated festival float is not for pulling but to be set on the fixed location.

Performers play the Japanese festival music inside the float.



種 別 石造物
員 数 1 基
所在地 湯河原町宮下697番地の1
指 定 町指定文化財 昭和57年4月1日
年 代 室町時代(推定)

宝篋印塔(ほうきょういんとう)の名称の起こりは、唐の高僧不空三蔵(ふくさんそう)の訳による宝篋印陀羅尼經(ほうきょういんだらにきょう)という經文を塔の中に納めて、礼拝供養したことによります。

塔の構造は、下部より基礎・塔身・笠・相輪の四つから成っています。実際に石塔が造られたのは、鎌倉時代以降のことで、武将や豪族の供養塔・墓碑として使われました。鎌倉時代のものは、一般的に規模が大きく安定感がありますが、室町時代になると小さく細長い形になってきます。

聖ヶ窪の宝篋印塔のある丘は五輪山(ごりんさん)と呼ばれ、大正末期まで、近隣の人々が集まって祭礼を行っていました。この塔は、民間信仰と仏教の伝承を知る上で貴重な資料です。また、構造や歴史の点でも、城願寺の土肥一族の墓所にある宝篋印塔に匹敵するものです。

Name : Hijirigakubo no Hokyo-in-tō, "Hokyo-in-tō (Stone pagoda) of Hijirigakubo"
Designated Cultural Property (stone sculpture)
Location : 697-1 Miyashita, Yugawara
Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1982 by Yugawara Town
Constructed during Muromachi Period

Hokyo-in is the Sutra written by Hokyo-in Darani and translated by High Priest Sanzo.

This pagoda stands on a hill called Gorin-san, where it had been a place for prayer and festive activities up to the Late Taisho era. It is honored by local beliefs and folklore through Buddhism.



種別 天然記念物

員数 1地域

所在地 湯河原町宮上750番地・751番地
(不動滝一帯)

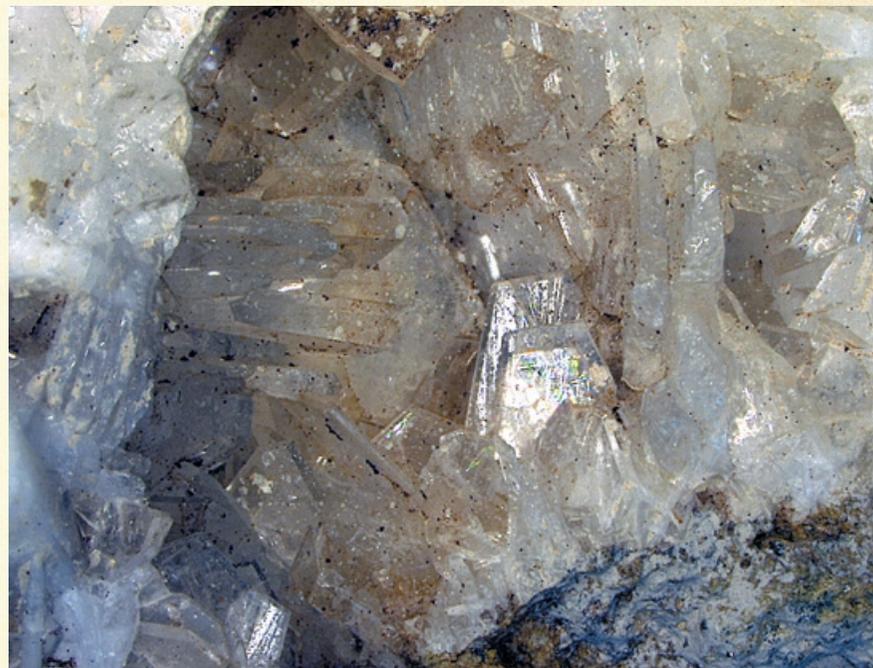
指定 町指定文化財 昭和57年4月1日

この沸石(ふっせき)は、1930年桜井欽一博士によって初めて湯河原の不動滝で発見され、学名に湯河原と冠せられました。

沸石は、温泉活動により火山岩のすきまや脈の中にできる鉱物で、酸によって加熱していくと、沸騰するように溶けることから沸石と呼ばれています。

沸石の仲間は、世界で30~40種ほど知られていて、湯河原で確認されているものは7種類あり、湯河原沸石はその1種です。

無色透明または白色半透明の板状の結晶で、硬度4.5度、比重2.2、ガラスまたは真珠のような光沢があります。他の多くの沸



石と違い、塩酸に溶けない性質があります。

Name : Yugawara Fusseki, "The largest volcanic rock in Yugawara"
Designated Natural Monument Protected Species

Location : 750 and 751 Miyakami, Yugawara
Designated as Natural Monument Protected Species on
1st Apr. 1982 by Yugawara Town

The largest Yugawara Zeolite was found by Doctor Sakurai in 1930 at Fudo-Taki (water fall). Its Scientific Name is called Yugawara Zeolite. Usually Zeolite can be melted in Boiling Acid. "Futsu" means boiling & "Seki" means stone. The name of "Fusseki" zeolite originated from the characters of melting from boiling. But Yugawara Zeolite does not dissolve in acid.



種別 天然記念物
員数 1地域
所在地 湯河原町宮上750番地・751番地
(不動滝一帯)
指 定 町指定文化財 昭和57年4月1日

不動滝で発見された湯河原沸石は、伊豆半島で最も古い新第三紀湯ヶ島層から発見されています。

沸石は、湯ヶ島層が露出している藤木川をさかのぼり、奥湯河原、湯河原浄水場、蛇態橋の付近でも発見されていますが、ここでは他に次のような沸石が産出しています。◎濁(だく)沸石 ◎モンデン沸石 ◎剥(はく)沸石 ◎菱(りょう)沸石などです。

湯河原沸石の産地は、湯河原温泉の泉源とほぼ一致している点、沸石は温泉と密接な関係があると考えられます。

Name : Yugawara Fusseki no sanchi is the area of Yugawara which produces volcanic rock.

Designated Natural Monument Protected Species

Location : 750 and 751 Miyakami, Yugawara

Designated as Natural Monument Protected Species
on 1st Apr. 1982 by Yugawara Town

This area is famous for Yugawara Zeolite which was found at Fudo-Taki (water fall). Laumontite, Mordenite, Epistilbite, Chabazite are also found in this area.



種別 天然記念物

所在地 湯河原町宮上566番地（万葉公園）

指定 町指定文化財 昭和57年4月1日

万葉公園の入り口に大きな石が置いてあります。表面はごつごつして、ただの石にしか見えませんが、よく観察すると黒く光るつやのある部分が見えます。これは黒曜石（こくようせき）の塊で、鍛冶屋の瑞應寺（ずいおうじ）というお寺の付近から掘り出されたものです。

黒曜石は、火山から噴き出た溶岩が急に冷やされたときにできる岩石で、色は黒が多く、場所によりチョコレート色や乳白色に濁るものもあります。この石の割れ口は、ガラスのように鋭いので先土器時代や縄文時代には、打製石器を作る材料としてよく使

用されました。

この石は、現在湯河原で発見されている最も大きな塊として保存されています。

Name : Kokuyoseki, "Largest Obsidian in Yugawara"

Designated Natural Monument Protected Species

Location : 566 Miyakami, Yugawara

Designated as Natural Monument Protected Species on
1st Apr. 1982 by Yugawara Town

There is a big stone at the entrance of Manyo Park. You can see some glossy parts just below the surface. This Obsidian is the largest one found in Yugawara.



種別 史跡

員数 1地域

所在地 湯河原町鍛冶屋440番地

指定 町指定文化財 昭和57年4月1日

湯河原町鍛冶屋の瑞應寺（ずいおうじ）の裏山一帯を尾崎山といいますが、このあたりには黒曜石の破片が落ちていたり、塊が埋まっていたりします。黒曜石は原始時代の人々が打製石器の材料として使ったもので、火山帯にしか産出せず、その場所のごく限られています。関東周辺では長野県の和田峠、伊豆の天城峠や神津島、箱根の芦ノ湯付近と湯河原の鍛冶屋にしかありません。関東の遺跡からは黒曜石で作った石器がよく発見されています。湯河原はその原産地の一つであった可能性が十分考えられます。

Name : Kokuyoseki saikutsu ato, "Historic Site of Obsidian stone Mine"

Designated Historic Site (obsidian mine)

Location : 440 Kajiya, Yugawara

Designated as Historic Site on 1st Apr. 1982 by Yugawara Town

Obsidian was used as material for chipped stone in primitive times. Obsidian are produced & found only in volcanic zone.



種別 無形民俗文化財
 所在地 湯河原町城堀
 指定 町指定文化財 昭和57年4月1日
 保存者 城堀元服祝い唄保存会
 人数 15名

この祝唄は、城堀地区が堀之内村といわれていた明治の初期、若衆(わかしゅう)の組織が生まれ、数え年15歳を迎えた少年たちが若衆に入会する際の入会式に取り入れられました。以来昭和36年頃、青年団が解散するまで引き継がれてきたものです。今日の成人式である入会式は、新入会者とその身元保証人、受け入れ側の若衆組織あるいは青年団の年輩者との間で、めでたい台詞のやり取りが行われました。

誰の助けも借りず人前で発言するということは、それなりの頭の働きと度胸のいることで、地域社会において少年から大人の仲間入りをするためにはそうした資質が必要です。この祝唄はそのテストと、仲間入りの誓いであり、テストを通過することによって初めて社会的に一人前の大人として認められるという加入儀礼の一つの典型として、当時の民俗習慣を知ることができます。

Name : Shirohori *Genpuku Iwiuta*, "The song that celebrates coming-of-age in the Shirohori area."
 Designated Intangible Folk Cultural Property
 Location : Shirohori area, Yugawara
 Conservator : Celebrate Song for Coming-of-age Preservation Society, Shirohori, Yugawara
 Designated as Intangible Folk Cultural Property on 1st Apr. 1982 by Yugawara Town
 Consist of 15 members

The Song was sung as initiation ceremony for 15 years old boy in early Meiji era.
 To show courage in front of people was one of the typical initiation rites in old Japan.



種別 無形民俗文化財
所在地 湯河原町鍛冶屋
指定 町指定文化財 昭和57年4月1日
人数 指揮者1ないし2名、演者約10名

明治以前から田植えのときや、「まんが」（馬鋤（まぐわ）：昔の農機具の一種）洗いの祝宴または秋の収穫作業などの稲作に関連して唄い継がれてきたものです。

戦後、農業の機械化が進んだこと、併せて都市化により湯河原町にも水田は無くなり、田植唄が聞こえてくるような、のどかな田園風景は見ることができなくなりました。

唄の形式は、唄いあげ「今日の日も昼間になるのに まだ寝てか雨だれすだれ」囃（はやし）唄 「ヤーノ朝日さすまで」というよ



うに指揮者の音頭と囃唄のかけ合いで進行するもので、かつての湯河原の農村風景をうかがい知ることができます。

Name : Kajiya no *taueuta*, "Rice-Planters' song at Kajiya"
Designated Intangible Folk Cultural Property
Location : Kajiya Area, Yugawara
Conservator : Rice-Planters' Song Preservation Society, Kajiya Yugawara
Designated as Intangible Folk Cultural Property on 1st Apr. 1982 by Yugawara Town
Consist of 1 or 2 Conductor & 10 Performers

Farmers were singing at the time of harvest or washing tools. After the War, there were no rice paddy fields in Yugawara, thus the rice-planters' song we cannot hear on a daily base.



種別 天然記念物
員数 1本
所在地 湯河原町宮下357番地（五所神社境内）
指定 町指定文化財 平成9年5月1日
規模 胸高周囲8m80cm 高さ約25m 樹齢800年（推定）

五所神社の銀杏は推定樹齢800年とされ、乳柱（ちばしら）といわれる逆円錐形の気根が数本垂れ下っている老大木です。

主幹は南側に約30度傾いて斜上しています。湯河原町では最大の銀杏です。この斜めに伸びた主幹の下側には多くの乳（ちち）と呼ばれる気根が垂れ下がり、乳の神として昔からあがめられてきました。

Name : Gosho *Jinja* no Icho, "Ginkgo at Gosho Shrine"
Designated Natural Monument Protected Species (one tree)
Location : 357 Miyashita, Yugawara (C/O of Gosho Shrine)
Designated as Natural Monument Protected Species on
1st May 1997 by Yugawara Town
Dimension : Trunk 8m80cm Height 25m

This Ginkgo is presumably aged around 800 years.
This is the biggest Ginkgo tree in Yugawara.



種別 天然記念物
員数 1本
所在地 湯河原町宮下356番地（五所神社境内）
登録 町指定文化財 平成9年5月1日
規模 胸高周囲8m20cm 樹高36m 樹齢600年（推定）

五所神社の鳥居をくぐると石段の右側にあります。県下でもまれに見る古・巨木です。樹高、幹の大きさともに湯河原町の樹木の中でも最大のもので、幹はまっすぐに伸び、枝の張りもよく、境内を広く被うように四方に枝を伸ばしています。

神奈川県の名木100選の一つに選ばれています。

Name : Goshō *Jinja* no Kusunoki, "Camphor Tree at Goshō Shrine"
Designated Natural Monument Protected Species (one tree)
Location : 356 Miyashita, Yugawara (C/O of Goshō Shrine)
Designated as Natural Monument Protected Species on
1st May 1997 by Yugawara Town
Dimension : Trunk 8m20cm Height 36m
Estimated tree age is about 600 years

This Camphor tree is rare in Kanagawa prefecture in age and size. It has been selected as one of the top 100 year old trees of historic interest in Kanagawa prefecture. It is also known as the biggest tree in Yugawara.



種別 天然記念物
員数 1本
所在地 湯河原町城堀217番地（産土八幡神社境内）
登録 町指定文化財 平成9年5月1日
規模 胸高周囲6m30cm 樹高25m 樹齢600年（推定）

産土（うぶすな）八幡神社の石段の右手に樹形の美しい、推定樹齢600年の老木があります。五所神社の楠に比べ目立たない存在ですが、樹齢、木の大きさともに湯河原町を代表する巨木です。

Name : Ubusuna *Hachiman Jinja* no Kusunoki, "Camphor Tree at Ubusuna Shrine"

Designated Natural Monument Protected Species (one tree)

Location : 217 Shirohori, Yugawara (C/O of Ubusuna Shrine)

Designated as Natural Monument Protected Species on 1st May 1997 by Yugawara Town

Dimension : Trunk 6m30cm Height 25m

To the right side of the stone steps at the shrine, you can see this beautiful large tree which is presumably 600 years old.



種別 建造物
員数 1棟
所在地 湯河原町鍛冶屋725番地（五郎神社）
指定 町指定文化財 平成16年1月1日
規模 一間社流造
桁行 約2m13cm 梁間 1m91cm
向拝出 約1m58cm
年代 17世紀後期

五郎神社は、湯河原町の東北部、吉浜から西北に入る谷戸の北側に位置しています。南に段傾斜した境内は上下2段になり、前方も広場状になっています。境内には楠の大木が多く、小字を宮の森といいます。現在の祭神は金山彦尊（かなやまひこのみこと）、面足尊

（おもだるのみこと）の2柱です。

本殿は、上段奥に建ち、前方の3間に2間の拝殿と接続していますが、もとは独立し、様式上から17世紀後期ごろのものとみられます。一間社流造（いっけんしゃながれづくり）で三方に束で受けた刎高欄（はねこうらん）付の切目縁（きりめえん）を廻し、正面は幣袖（へいじく）付板扉両開きになっています。

全体として木太く、妻など派手な所が見られ江戸初期風の意匠が凝らされています。

Name : Goro Jinja no Honden, "Main hall at Goro Shrine"

Designated Cultural Property (one building)

Location : 724-2 Kajiya, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Jan. 2004

by Yugawara Town

Building Style : Ikkensha-Nagare

Ketayuki (length of beam) 2m13cm

Harima (length of crossbeam) 1m91cm

Constructed during late 17th Century

There are many Camphor trees surrounding the shrine called Miyanomori.

The old trees with thick trunks are seen at the front of the building, which is characteristic of early Edo style.

Goro Shrine enshrines Kanayamahiko God in Shinto religion and Omodaru God in Buddhism.



種別 石造物
員数 1基
所在地 湯河原町吉浜1番地(小道地藏堂)
指定 町指定文化財 平成16年1月1日
規模 宝形屋根角柱型石碑
全高3m12cm 全幅1m56cm 全奥行1m56cm
碑面高1m43cm 碑面幅63cm 碑面奥行62cm
年代 明和2年(1765年)2月

この明和2年(1765年)に建立された碑は、吉浜の東部、海岸近くにある通称小道地藏堂と呼ばれる堂宇の西南側に位置しています。

この碑は、碑文が伝えるように小道中興開基量外器禅師の略伝及び雪後操公の建塔の由来と源平盛衰記が記す石橋山の合戦に敗れた源頼朝と従臣らが隠潜した小道地藏堂の由来を受け継ぎ、頼朝による造堂、文永2年(1265年)の炎上と現地に移ったことなどの地藏堂の縁起を刻んでいます。

この碑は、英潮院地藏堂(通称小道地藏堂)の由来や当地方に伝承される源頼朝説話などを物語る貴重な歴史資料と言えます。

Name :Komichi-Jizo-dō no Meiwa ni nen no Hi, "Monument of Komichi-Jizo-dō in 1765"

Designated Cultural Property (one stone monument)

Location : 1 Yoshihama, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Jan. 2004
by Yugawara Town

Dimension : Height 3m12cm Width 1m56cm Depth 1m56cm

Face Dimension : Height 1m43cm Width 63cm Depth 62cm

Constructed on 1765

Kamakura *shogun*, Yoritomo Minamoto hid in Komichi-Jizo-dō.

This building caught fire in 1265.

For this reason, it was moved to its current location.

This monument tells these stories.



種別 彫刻等
員数 1 軀
所在地 湯河原町鍛冶屋440番地（瑞應寺）
指定 町指定文化財 平成16年1月1日
規模 全高 37cm5mm
年代 室町時代（1439年または1469年頃）

この銅像釈迦如来坐像は、背面に陰刻名があり「己未七月九日
□阿弥」と記されています。干支に当てはめると西暦1439年または1469年頃の制作になり、製作年から瑞應寺開山寛文9年（1669年）以前のものであると推測されます。

像は、ふっくらとした頬を持ち、膝張りは肩幅に対してあまり広がらず、折り返しのある衣文など室町時代の特徴を備えていて、中世の数少ない銅像作例であることから極めて重要です。

Name : Zuioji no dōzō Shakanyorai-zō, "Seated Statue of Shaka-Nyorai Made of Capper at Zuioji Temple"
Designated Cultural Property (one bronze-statue)
Location : 440 Kajiya, Yugawara
Designated as Cultural Property on 1st Jan. 2004 by Yugawara Town
Dimension : Height 37cm5mm
Constructed during 1439 or 1469 (Muromachi period)

This statue has round, full cheeks, and a perfectly folded *kimono* hem, which is characteristic of the Muromachi period. This statue is made of copper, which was rare in the middle ages.



種 別 古文書
所在地 湯河原町中央二丁目2番地1
指 定 町指定文化財 平成16年1月1日
規 模 裁許状（表）及び絵図（裏）
横2m33cm×縦1m40cm
年 代 元禄13年（1700年）10月

伊豆山権現領の農民が、権現領内から石を切り出す小田原領農民を訴えたものです。万治年間（1656～1660年）伊豆山と熱海村との境界争いに下された裁許絵図をよりどころに、伊豆山権現領と小田原領との境が定められることになりました。この境界がそのまま伊豆国と相模国の国境とされました。

この裁許で門川（現千歳川）が境界となり、現熱海市泉地区の伊豆国編入が決められました。

近世における人々の暮らしや産業、国境の定め方を知るうえで貴重な歴史的資料です。

Name : Genroku jusan-nen ju-gatsu Izusan Gongen-ryo to Odawara-han to no sakai ron ni tsuite no Bakufu no Saikyojo, "Ancient Document 「Sanction of Boundary line between Izusangongen and Odawara domain on Oct.1700」"

Designated Cultural Property (one Ancient document)

Location : Chuo 2-2-1, Yugawara (C/O Yugawara Town Office)

Designated as Cultural Property on 1st Jan. 2004 by Yugawara Town

Dimension : Width 2m33cm Hight 1m40cm

Drawing made on Oct. 1700

Knowing how the land boundaries are marked is important historically. Farmers in Izugongen prosecuted farmers in Odawara for intruding on his territory, because he dug out a stone from his Izugongen domain. So, the boundary line was decided by an official drawing, during the trial between Izusan and Atami.

The decision was that Chitose River became the boundary between Sagami and Izu, Izumi (Atami), was then also included into Izu territory.



- 種別 歴史資料
 員数 2基
 所在地 湯河原町吉浜4番地の口地先
 指定 町指定文化財 平成16年1月1日
 規模 角柱形
 碑高 81cm 碑幅 33cm 碑厚 33cm
 板碑形(板状自然石)
 碑高 66cm 碑幅 33cm 碑厚 11cm
 年代 江戸時代(推定)

この道標は、吉浜の通称「茶屋道(ちやみち)」の入口にあります。「茶屋道」は江戸時代に脇街道として位置付けられた「根府川通(往還)」の一部であり、俗に「熱海道」または「小田原道」と呼ばれて

います。このあたりが「茶屋道」と呼ばれるのは、坂の上に茶店があり旅人が休息したことに由来します。茶屋のあった所は、海岸の眺めがよく、また、福浦の龍宮岩なども一望できたと思われます。昔は一部が階段だったといえます。

この道標は、当初設置された場所からあまり変わってないと推測されます。江戸時代のこの地域の交通や人々の生活を知る上から歴史的な史料価値が高いものです。

Name : Yoshihama Kashiwa-zaka no michishirube, "Signpost on Yoshihama Kashiwa Slope"

Designated Cultural Property (two historical stone monuments)

Location : 4 Yoshihama, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Jan. 2004 by Yugawara Town

Prism shape dimension :

Height 81cm Width 33cm Depth 33cm

Plate shape dimension :

Height 66cm Width 33cm Depth 11cm

Constructed during Edo period (estimated)

This sign post can be seen at the entrance of Chayamichi, which is a side road also called Atami street or Odawara street. It leads out from another side road, "Nebukawa street". The sign post is historically important, as it kept records of traffic conditions during the Edo period which are still preserved today.



種別 史跡

員数 1地域

所在地 湯河原町城堀401番地他

指定 町指定文化財 平成16年1月1日

規模 連郭状尾根城 全長 約390m

年代 室町時代～戦国時代

土肥城址は、箱根外輪山の主峰大観山から相模湾に向って下降する尾根の中腹にあり、その西寄りの山裾には、土肥館跡と考えられるJR湯河原駅付近が位置しています。

城址は、連郭式の城郭で全長は六連郭部分で約240m、さらに第六郭から遠構(とがまえ)と考えられる堀切までは約150mあり、全長は約390mに及びます。



主郭から第六郭までは、約35mの高低差を利用して階段状に郭を連結させ急峻で要害性の高い連郭状尾根城としての特徴を示しています。中世における城郭の発展を知る上からも重要であり、後世により良い保存状態で伝えるべき史跡であると考えられます。

Name : Doi-joshi (Doi-Shiroyama) , “Doi Castle ruins”

Historic remains

Designated Cultural Property (historic remains)

Location : 401 Shirohori area, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Jan. 2004

by Yugawara Town

This castle was constructed sometime between the Muromachi and Sengoku period(around1336～1615). It was built in the *Renkaku* style and sits on a mountain ridge at 390m. The castle ruins are located on the side of Mt.Daikanzan facing Sagami Bay. There is a 35m elevation difference within the castle, so the rooms were connected by a series of stairs. On the west side of the castle it faces present day Yugawara JR station, as well as the ruins of Doi's house.



- 種別 有形民俗文化財
 員数 2基
 所在地 湯河原町吉浜1047番地(素鷲神社)
 指定 町指定文化財 平成27年1月1日
 形状 置き屋台 材質 木材 樺(けやき)
 規模 高さ3m50cm、横3m20cm、幅2m60cm
 高さ3m70cm、横3m30cm、幅2m70cm
 年代 不詳(江戸時代、天保13年前後)

この屋台は、飾り屋台と呼ばれているように、町内を引き回すものではなく、祭礼のたびに組み立て一定の場所に据え置き、中でお囃子を演ずるものです。

山車彫刻は、江戸の後藤三治郎橘恒俊(ごとうさんじろうたちはなつねとし)・安房の国の武志伊八郎信由(たけしいはちろうのぶよし)等の手によるものです。素鷲神社の飾り屋台は、県の無形民俗文化財・国選択の無形民俗文化



財に指定されている「鹿島踊」と共に、江戸時代における湯河原地域の庶民の経済力並びに信仰習俗の一端をうかがい知ることができます。

Name : Suga *Jinja* kazari yatai, “Decorated Festival Float of Suga Shrine”
 Designated Tangible Folk Cultural Property (two floats)
 Location : 1047 Yoshihama, Yugawara
 Designated as Tangible Folk Cultural Property on
 1st Jan. 2015 by Yugawara Town
 Construction style of Float : Made out of Zelkova (Japanese wood)
 Dimension :
 Height 3m50cm Side 3m20cm Width 2m60cm
 Height 3m70cm Side 3m30cm Width 2m70cm
 Constructed around 1842 during Edo period

This festival float is not to be pulled but placed on ground or on a base and just for playing festival music inside.
 The frames can be taken apart each time after the festival.
 This float and Kashima dance show us faith and economic strength of Yugawara people in Edo period.



種別 無形民俗文化財
 所在地 湯河原町吉浜
 保存者 吉浜素鷲神社鹿島踊保存会
 指定 県指定無形民俗文化財 昭和29年7月17日
 国選択無形民俗文化財 昭和46年11月11日

鹿島踊りは小田原市石橋から相模湾沿岸を西に湯河原まで10ヶ所、静岡県は伊豆半島東岸、東伊豆町北川(ほっかわ)まで12ヶ所、合せて22ヶ所で踊られていたものが、戦後湯河原町では福浦と門川が廃絶、現在は吉浜と鍛冶屋の2ヶ所のみとなりました。

踊られる場所は、本来、神社の例祭の他は海辺で海に向かって、あるいは村境まで出向いて踊るものでした。

踊りの起源は、古代たたら製鉄に関するものですが、ここでは疫

病の送り払い、大漁と豊作、湯河原地方特有の産業である石材産出の無事とそれを輸送する海上安全にありました。

踊手は白丁(はくちょう)を着て烏帽子(えぼし)をかぶり、太鼓役1人、鉦(かね)役2人、黄金柄杓(こがねびしゃく)役1人、日形(ひがた)役1人、月形(つきがた)役1人、ほか踊りの計25人、土地の青年で構成されます。この他に4人の警護役が加わります。

吉浜素鷲神社の鹿島踊りはこの地方独特の形態をした踊りで、古い形を比較的良好な状態で今に継承されているもので、それは全国でも珍しく、国選択と県指定の無形民俗文化財になっています。毎年8月1日を例祭としています。

Name : Yoshihama no Kashima odori, "Kashima Dance at Yoshihama"

Designated Intangible Folk Cultural Property

Location : Yoshihama Area, Yugawara

Conservator : Preservation Society of Yoshihama Kashima Dance
 Designated as Intangible Folk Cultural Property on 17th July 1954
 by Kanagawa Prefecture

Also Selected as Intangible Folk Cultural Property on 11th Nov.
 1971 by Japanese Government

This is a dance festival held every year on August 1st.

Originally, villagers danced on the beach facing the ocean, or to the boundary between villages. Its roots are in *Tatara*, ancient iron making. However, in Yoshihama, people danced for workers safely in stone mining, transportation and shipment of the stone, safety from epidemics, success in catching large quantities of fish and an abundant harvest.

Today, about 25 local villagers still wear white *kimonos* and traditional hats to dance. The style and characteristics of this dance are roughly the same as its original style. It's quite rare for ancient traditions to last this long.

湯河原の文化財

案内図



- 15 子之神社の格天井板絵
- 16 醍醐院の宝篋印塔
- 17 土肥美平及び遠平像
- 18 醍醐院の宝篋印塔
- 19 小道地藏堂の宝篋印塔
- 20 土肥稲山蔵内観音像群
- 21 明神の桶
- 22 與謝野寛・晶子運理歌碑
- 23 子之神社の飾り屋台
- 24 聖ヶ窪の宝篋印塔
- 25 湯河原沸石
- 26 湯河原沸石の産地
- 27 黒曜石
- 28 黒曜石採掘遺跡
- 29 不動堂の雨乞の面
- 30 産土八幡神社の桶
- 31 五所神社の銀杏
- 32 五所神社の本殿
- 33 産土八幡神社の桶
- 34 五郎神社の本殿
- 35 小道地藏堂の明和2年の碑
- 36 瑞應寺の銅像 釈迦如来坐像
- 37 元禄13年10月伊豆山権現領と小田原藩との境論 についての墓府裁許状(複製図)
- 38 吉浜柏坂の道標
- 39 土肥城址(土肥城山)
- 40 素鷲神社飾り屋台
- 41 吉浜の鹿島踊

土肥大杉跡

幕山 626M

幕山公園

湯河原 610M

南郷山 ハイキングコース

湯河原梅林 約4,000本



0 500m 1000m

湯河原町の文化財

2015年12月発行
2017年12月第二刷
2021年3月第三刷
2025年3月第四刷

湯河原町教育委員会
☎0465-62-1125
